

# 理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～

平成21年1月26日

## 冬型の気圧配置

おとといから降り続いた雪で、すっかり冬の景色になりました。久々の雪寄せに、お疲れの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ところで、天気予報で「冬型の気圧配置が強まり...」という言葉聞いたことはありませんか。この「冬型の気圧配置」って、一体どんな気圧配置なのでしょう、というのが今回のお話です。

この「冬型」にくっつく言葉が「西高東低の - 」です。

西高.....これは西側に大陸の冷たい高気圧が張り出してくること

東低.....東の日本海に低気圧が発達しながら進んでいくこと

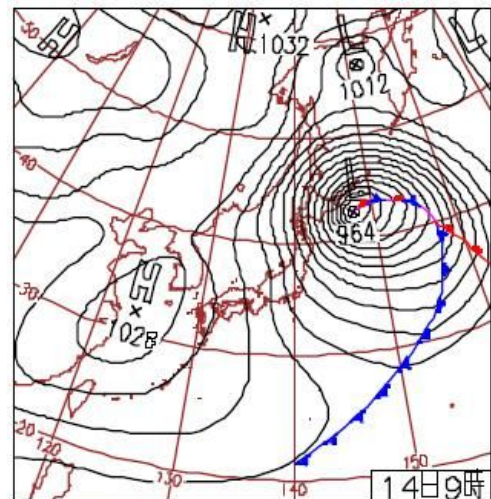
なんです。そしてこの低気圧は台風並に発達し、ものすごい吹雪になることも多いのです。他にも「縦じまの等圧線」「すじ状の雲」という冬の特徴があります。縦じまの等圧線は右の天気図を見ると一目瞭然ですね。この線が込んでいるほど、風が強いこととなります。また、筋状の雲は、気象衛星の写真を見るときははっきりと分かります。日本海でたっぷりと水分を補給して、奥羽山脈の手前にある秋田県に、どーんと雪を置いていく雲です。

猛吹雪の時は、一般に

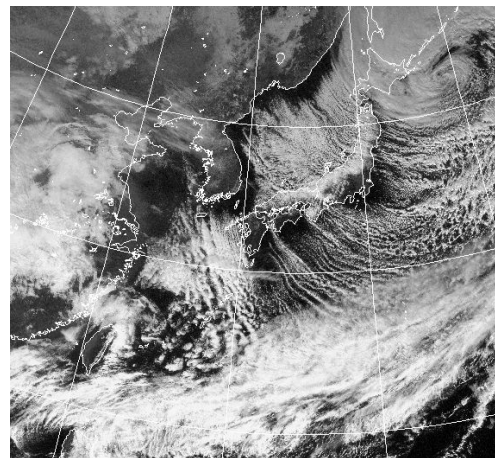
「吹雪 晴れ 吹雪 晴れ」

と天気が交互に繰り返すことが多いのをご存知ですか。これを知っていると、生活の中で役立ちますよ。吹雪の時に無理に移動せずに、次の晴れ間を待って一気に移動、という工夫もできるのです。今度吹雪になったときに「本当かしら」と注意してみてください。

2004年1月14日の天気



14日(水)北日本 大荒れ



(天気図・衛星写真は気象庁より引用)

春・夏・秋にも特徴的な気圧配置や天気の移り変わりがあります。そんなのも意識しつつ天気や季節の移り変わりを楽しんでみませんか。そうすると、春の足音や気配にも敏感になり、ワクワクも増えますよ。

(ヒント 移動性高気圧 帯状の高気圧 梅雨前線 太平洋高気圧 三寒四温 などなど)